

新規事業採択時評価結果（平成19年度 新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道417号 岡島橋	事業区分	一般国道	事業主体	岐阜県
起終点	起点：岐阜県揖斐郡揖斐川町下岡島 終点：岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪	延長	0.57km		
事業概要	国道417号は岐阜県西濃地域と福井県南地域を結ぶ幹線路線であるとともに、大垣地域と揖斐地域を結ぶ最短路線であるが、揖斐川を渡河する岡島橋は、架橋から60年以上が経過して老朽化が著しいことから、架替えおよび前後の取付け道路を整備するものである。				
事業の目的、必要性	岡島橋はS14架設の老朽橋であり補修を繰り返しながら現在にいたっているが、幅員が狭く大型車のすれ違いが困難であることから、大型車の交互通行に起因する渋滞がたびたび発生している。また、取り付け部の歩道が未整備であるが、交通量9,797台/日（うち大型車1,290台）と多く危険な状態となっている。本区間は、大垣市から揖斐川町地内の国道303号との交差点間における唯一の未改良区間であり、早急な整備が必要である。				
全体事業費	31億円	計画交通量	11,000台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	岡島橋は老朽化が著しく、幅員も狭小であり、安全なすれ違いが困難であるため、揖斐川町より早期整備の要望（平成18年11月）を受けている。
----------------	---

事業採択の前提条件	費用便益比（B/C）：1.0以上 事業執行環境が整っている：住民参加型道づくり委員会（岡島橋架橋委員会）H13.12設立
-----------	---

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：23億円 （事業費：22億円 維持管理費：1億円）	総便益：34億円 （走行時間短縮便益：33億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年 平成18年
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	幅員が狭いため大型車同士のすれ違い困難なことによる渋滞を解消する。 ・渋滞長（ピーク時）130m ・渋滞損失時間 2.6万人・時間/年/キロ 全国平均 2.0万人・時間/年/km（1.3倍） 県内平均 2.7万人・時間/年/km（1.0倍） ・混雑時旅行速度 12km/h（20km/h未満） ・アクセス向上時の所用時間の短縮される時間（1分） ・特に揖斐川厚生病院へのアクセス時間の短縮（1分）	
		事故対策	◎	死傷事後率県平均比1.6倍の岡島橋橋詰交差点において、事故の減少が見込まれる。 岡島橋橋詰交差点 事故件数 H15：16件、H16：17件、H17：13件 【死傷事故率】約112.6件/億台キロ 県内上位2割以内 岐阜県平均 約69.9件/億台キロ（約1.6倍） 全国平均 約105.3件/億台キロ（約1.1倍）	
	歩行空間	○	橋梁上の歩道幅員が2.0m（0.5m拡幅）となること、及び取付道路部に歩道が設置されることにより、通学路としての安全性が確保される。		
	社会全体への影響	住民生活	○	揖斐地域最大の揖斐厚生病院へのアクセス向上、取付道路部に歩道が設置されることによる安全性の確保が見込まれる。	
		地域経済	○	大垣市、池田町への所要時間短縮と円滑化によりアクセスが向上する。	
災害		○	老朽橋が改修され緊急輸送道路ネットワーク計画（第2次緊急輸送道路）に位置付けられている緊急輸送道路の機能向上が見込まれる。		
環境	-				
地域社会	○	福井県へのアクセスが向上する。（冠山峠道路完成後） 名神高速道路、国道21号、大垣市街等、交通、生活拠点へのアクセスが向上する。			
事業実施環境	○	地元が事業に協力的であり、河川管理者とのルート協議も終了している。			

採択の理由

費用便益比が1.5であり、河川管理者とのルート協議も終了していることから、事業採択の前提条件を確認できる。  
また、当該事業の実施により、すれ違い待ちによる渋滞の解消、交差点事故の解消、安全な歩行空間の確保、中心市街地の活性化などが図れることから、事業効果は高いと判断できる。  
以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。